

令和6年度

香美町総合戦略 事業評価・検証シート

兵庫県香美町

重要業績評価指標(KPI)進捗管理一覽

令和6年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合
令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合
当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

- ◎：当該年度末において達成済
- ：令和7年度末での達成が見込める
- △：令和7年度末での達成が困難
- ：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度から当該年度末までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
実質化したプラン※ （※①アンケートの実施②地図を作成し耕作状況の見える化③集落みんなの話し合い）	0組織 [H30年度]	15組織 [R7年度]	農林水産課	46組織	-	306.7%	—	法律改正に伴い実質化したプランが0となり、新たに地域計画を策定した。
農地中間管理事業取扱面積	11.3ha [H30年度]	70.0 ha [R7年度]	農林水産課	60.20ha	-	86.0%	△	今後も引き続き、地域計画の策定と合わせて事業の推進に取り組む。
集落営農組織数	13組織 [H30年度]	15組織 [R7年度]	農林水産課	11組織	-	73.3%	△	集落内農家の高齢化に伴い、集落営農組織そのものの持続も危ぶまれる。
認定農業者数	42人 [H30年度]	45人 [R7年度]	農林水産課	39人	-	86.7%	△	畜産、果樹、水稲において認定新規就農者から認定農業者へ移行できるよう支援を継続する。
「ものづくり」6次産業化取組件数 ※1	1件 [H30年度]	12件 [6年間の累計]	観光商工課	1件	10件	83.3%	○	事業者の販路拡大に係る支援の展開を図っていく。
起業・創業支援件数 ※2	2件 [H30年度]	12件 [6年間の累計]	観光商工課	0件	10件	83.3%	○	対象者が利用しやすい制度へ見直しを図る。
観光入込客数 ※3	132.5万人 [H30年度]	165万人 [R7年度]	観光商工課	108.3万人	-	65.6%	△	魅力的な観光コンテンツの造成を図っていく。
うち宿泊者数	36.8万人 [H30年度]	42.6万人 [R7年度]	観光商工課	29.1万人	-	68.3%	△	魅力的な観光コンテンツの造成を図っていく。

※1 ものづくり支援事業補助金利用件数

※2 起業・創業支援事業補助金利用件数

※3 観光動態調査より算出

令和6年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅱ 香美町への新しい人の流れをつくる

数値目標	若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯
------	---------------------------------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合

令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合

当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済

○：令和7年度末での達成が見込める

△：令和7年度末での達成が困難

—：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度 から当該年度末 までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
人口増減数に対する社会増減数が占める割合※1	47.90% [3ヵ年平均] (H28-H30) (基準日：1月1日)	40% [R7年度]	企画課	24.01%	-	-	-	転出傾向が高い若い世代を中心に、町内に住み続けたいと思える環境づくりや、I・Uターン希望者や移住希望者が定住できる体制を強化していく。
空き家利活用件数 ※2	10件 [H30年度]	84件 [6年間の累計]	企画課	16件	92件	109.5%	◎	家屋の知見を持つ事業者に調査を依頼することで空き家情報の充実を図り、取引数増加を目指す。
U・Iターン就職者数 ※3	8人 [3ヵ年平均] (H28年度-H30年度)	60人 [6年間の累計]	観光商工課	0人	0人	0.0%	△	関係部署及び関係団体と連携を図り、就労支援に繋がる取組を図る。
地域おこし協力隊の定住、起業件数	3人 (H28年度-H30年度)	6人 [6年間の累計]	企画課	1人	5人	83.3%	○	隊員、担当部署、受入れ先が密に連携し、隊員を手厚くサポートするとともに、起業補助制度の活用を勧め、定住・起業（就業）してもらえる体制づくりを進める。

※1 「住民基本台帳人口・世帯数（（公財）国土地理協会）」掲載数値により算出

※2 空き家バンク登録物件の契約成立件数及び県補助金等の利用件数

※3 雇用奨励金等商工関連補助金交付企業等での就職者数

令和6年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

- KPI が計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合
令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。
- KPI が単年度の成果である数値目標の場合
当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

- ◎：当該年度末において達成済
- ：令和7年度末での達成が見込める
- △：令和7年度末での達成が困難
- ：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度から当該年度末までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
出生数	89人 [H30年度]	110人 [R7年度]	健康課	40人	-	36.4%	△	今後も妊娠期から出産・子育て期にわたり継続的に関わることで、安心して妊娠期・子育て期が送れるように支援していく。
婚姻数	31組 [H30年度]	45組 [R7年度]	企画課	16組	-	35.6%	△	出会い・結婚につながる機会の提供にとどまらず、若者の交流の場の創出、香美町での前向きな暮らしを考える場を提供し、定住に繋げる。
ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	-	10事業所 [6年間の累計]	観光商工課	1事業所	1事業所	10.0%	△	事業者に対して支援制度の周知を図っていく。
子どものいる世帯のうち、第3子以上を養育する世帯の割合	20.3% [H30年度]	23.0% [R7年度]	健康課 こども教育課	19.2%	-	83.5%	△	安心して子育てできるまちを目指し、引き続き子育て支援事業等を展開して、子育てしやすい環境づくりを推進する。
香美町で子育てをしたいと思う親の割合※	92.4% [H30年度] (県平均94.0%)	95.0% [R7年度]	健康課	85.9%	-	90.4%	△	どのようであれば子育てしていきたい町になるのかを保護者・家族と共有して、子育て支援事業を展開していく。

※1 乳幼児健康診査問診票の問診項目（健やか親子21健康水準の指標）により算出

令和6年度 第2期香美町総合戦略 成果指標、重要業績評価指標（KPI）

■基本目標Ⅳ 豊かな暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

◆重要業績評価指標（KPI）に対する達成状況及び評価について

■KPIが計画期間中（6年間）の累計である数値目標の場合

令和2年度から当該年度末までの累計に対する達成状況を算定し評価を行う。

■KPIが単年度の成果である数値目標の場合

当該年度末での実績に対する達成状況を算定し評価を行う。

◎：当該年度末において達成済

○：令和7年度末での達成が見込める

△：令和7年度末での達成が困難

—：事業未実施または事業の実施状況により実績の把握が不可など

数値目標	基準値	重要業績評価指標（KPI）	所管	当該年度末実績	令和2年度から当該年度末までの累計	重要業績評価指標に対する達成状況及び自己評価		今後の取り組み方針
						達成状況（%）	評価	
新しい地域コミュニティ組織数	-	6箇所 [6年間の累計]	企画課	0箇所	1組織	16.7%	△	地域に寄り添い、必要に応じて適切なアドバイスを行う中間（伴走）支援体制の確立を目指し、新しい地域コミュニティの設立及び持続可能な地域づくりを進める。
集落点検・集落計画策定件数	-	上記、地区内の集落	企画課	0件	0件	0.0%	△	持続可能な地域づくり、組織運営を図るため、人口動向・高齢化・地域活動の課題等を点検し、課題解決に向けた集落計画の策定を推進する。

基本目標 I

香美町における安定した就労の場を創出する

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱1 地域産業の競争力強化（商工分野）

具体的な施策① 地域産業の育成・支援【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 個々事業者の経営革新計画の作成支援 	ものづくり推進事業費	販路拡大に係る新商品の開発等につなげるため、商工会と連携しセミナーを開催し事業者の支援を行った。 経営事業計画策定支援事務委託料 1,000千円	補助制度や優遇制度を周知し、意欲のある事業者を発掘するとともに新たな商品開発、販路拡大を支援する。また、より利用しやすい制度への見直しを行う。
<ul style="list-style-type: none"> 創業支援事業計画による起業・創業ワンストップ窓口の設置と総合的支援 	地域しごと支援事業	商工会に設置したワンストップ窓口での相談とあわせ、創業支援計画に基づくセミナーを開催した。 創業支援セミナーを4回（6人）、個別相談を6日間（延べ8人）行ったが、起業までには至らなかった。 創業支援計画事業委託料 1,500千円	補助制度や優遇制度を周知するとともに、制度の見直しにより、町内での企業につながるよう取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> 多様な就業の場の確保と人材育成の推進 	地域しごと支援事業	町内事業所従業員の人材育成に関わる各種資格取得に対する支援を行った。 ・利用事業者数12者 ・延べ受講者62人	利用事業者数及び受講者数の増加を目指し、制度の啓発に努める。
<ul style="list-style-type: none"> 事業主の円滑な事業継承を進めるための事業承継セミナー、個別相談の実施 	地域しごと支援事業	兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、専門家による相談会を1回開催し指導を行った。 ・相談件数4件	事業者へ相談会開催に係る啓発やセミナーの開催によりスムーズな事業承継が行えるよう努める。

■施策の柱2 地域産業の競争力強化（農林水産分野）

具体的な施策① 農林水産業の生産基盤の保全と地場産品の高付加価値化【拡充】

[農村空間の継承と高付加価値農産物の生産振興]

<ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理事業による中心的経営体や担い手への農地の集積集約 	町単農業振興対策事業費 農地中間管理事業等推進事業費	農業者の減少、遊休農地の増加等を解決するため、地域全体で農地利用最適化の調整を進め、農地中間管理事業を通して農地を集積集約することにより、地域の中心的な担い手農業者を支援・育成した。 農地集積集約促進事業補助金 147千円 農地中間管理事業等推進事業費 327千円	農業者の減少、遊休農地の増加等を解消するため、引き続き取り組む。
<ul style="list-style-type: none"> 非農家も含めた集落営農の推進、農業経営組織の法人化 	町単農業振興対策事業費	集落農業研究会を開催し、香美町内の集落営農組織・農業法人の代表者が受講した。	持続的・安定的な農地保全に向け、引き続き法人化への支援に取り組む。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・「地域計画(人・農地プラン)」の策定推進と大切な農地や農村文化を守る気風の醸成 6-1-3 農林水産課	人・農地問題解決推進事業費	地域計画策定に向け、各関係機関と事務分担等に関する連絡調整や地域の話合いと意見交換会を行い40計画(46行政区)の策定を行った。	引き続き未策定地域の策定に向け取り組む。
・食味値等で評価の高い特A産地Sランクの「コシヒカリ」、高単価で取引される「美方大納言小豆」、二十世紀やなしおとめをはじめとした「香住梨」など、地域特産物の生産拡大 6-1-3 農林水産課	地域特産物販路拡大事業費	町・県農業改良普及センター・JA等の関係団体が連携し、良食味米など地域特産物の生産拡大、PRを行い、農家所得向上を図った。 地域特産物販路拡大事業費 748千円	引き続き関係機関が連携し、特産物の生産拡大、PRに取組み、農家所得の向上を図る。
・但馬牛の堆肥やカニ殻等の有機肥料、減農薬栽培による「有機の里」づくり 6-1-3 農林水産課	町単農業振興対策事業費	牛ふん堆肥等の有機肥料による健康な土づくりを進め、農産物の高付加価値、環境にやさしい農業を推進を図った。 有機の里推進対策事業費補助金 2,023千円	引き続き牛ふん堆肥等の有機肥料による健康な土づくりを進め、農産物の高付加価値、環境にやさしい農業を推進する。
[「美方郡産但馬牛」の増頭と更なるブランド化の推進]			
・優良肉用雌牛保留対策事業による優良系統牛の確保、維持 6-1-4 農林水産課	畜産振興対策事業	“但馬牛の原産地”として増頭対策を積極的に推進し、農家の規模拡大を支援するとともに、優良牛の育種改良基盤を確立に努めた。 優良肉用雌牛保留対策事業費補助金 7,410千円	引き続き“但馬牛の原産地”として増頭対策を積極的に推進し、農家の規模拡大を支援するとともに、優良牛の育種改良基盤を確立する。
・若手農家の経営規模拡大支援、新規就農者の確保、異業種企業の参入、新たな生産拠点づくりによる増頭対策の推進 6-1-4 農林水産課	新規就農・経営継承総合支援事業 畜産振興対策事業	要望調査を行ったが該当がなかったため、支援に至らなかった。	引き続き中心的経営体となる若手畜産農家の規模拡大と新規就農者等の施設整備、繁殖雌牛導入に対し支援を行う。
・広域的なふん尿処理対策及び耕畜連携、棚田放牧等の拡大 6-1-4 農林水産課	畜産振興対策事業	放牧と堆肥の利用は、耕畜連携が図られている。また、但馬内の市町、JA、県等の関係機関により、堆肥と稲わらの交換モデル実地検証を実施することで、広域的ふん尿処理対策に対する検討を行った。	引き続き耕作放棄地を活用した放牧や堆肥を利用した有機栽培を推進する。また、広域的ふん尿処理対策について但馬内の市町、JA、県等の関係機関により検討を進める。
[新たな森林経営管理と価値ある森林の育成]			
・森林環境税を活用した間伐等人工林の適正管理と「100年の森」づくり 6-2-2 農林水産課	森林環境経営管理事業費	・条件不利地における間伐等の森林整備に支援を行った。 町内2箇所 16.20 ha ・町内2集落において町単独里山防災林整備事業(長打業務)を実施すると共に、令和年度における森林整備のための事前調査を町内2集落において行った。	森林整備を継続実施する。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・木の駅プロジェクト等による森林資源を活用する 気風の醸成 6 - 2 - 2 農林水産課	森林環境経営管理事業費	木の駅プロジェクト実施主体である森のステーション美方 実行委員会に運営支援を行った。 出荷量 117.83 トン グリーンチケット発券数 1,675 枚	周知活動を継続実施するとともに新規登録者の掘り 起こし、出荷量の安定確保に努める。
・間伐材など未利用森林資源の有効活用 6 - 2 - 2 農林水産課	森林環境経営管理事業費	事業未実施	新たな森林活用の方向性を整理し、地域産材を用い た公共施設建築、木材加工事業の取組み等について 検討する。
・木質バイオマスの利用拡大と公共施設等の木質化 の推進 6 - 2 - 2 農林水産課	森林環境経営管理事業費	チップ材加工については、香美町バイオマスセンターを拠 点として安定的な運営がなされている。 香美町バイオマスセンターにおける設備更新に対し補助金 を交付し、設備機能向上を支援した。	チップ材加工については継続して安定運営に努め る。木質化については方針に基づき建築物における 木材利用の促進に努める。
[日本海側随一の「水産のまち香住」の再興]			
・漁業関係施設や市場機能の再編・集約・整備の推 進 6 - 3 - 2 農林水産課	水産業振興事業費	「香美町の水産を考える会」による流通機能（荷捌所、漁 港陸揚機能）整備の方向性を再整理するとともに、漁業や 市場、仲買人等の水産業関係者との情報交換、意見集約す ることにより、市場集約と水産物流通機能高度化整備に係 る事業の実現に向け調査、検討を行い、概ねの方向性の確認 を行った。	引き続き、施設等衛生管理高度化推進の協議体制の 設置、協議及び基本計画作成に向けた市場機能の検 討を行う。
・資源管理に基づく漁獲量の確保と漁船、船員の確 保 6 - 3 - 2 農林水産課	水産業振興事業費	新規漁業就業者や外国人漁業実習生の激励会、修了証書授 与式等を行い、町全体で歓迎ムードを醸成することによ り、担い手の確保を図った。 ・新規漁業就業激励者 4名 消耗品費（新規漁業就業者激励記念品代） 96千円	新規漁業就業者や外国人漁業実習生の激励会の開催 等、町全体の歓迎ムードを醸成し、担い手の確保を 図る。
・魚食普及の推進と「魚のまち」の誇りの回復 6 - 3 - 2 農林水産課	水産業振興事業費	魚食普及と地産地消を推進するため、香美町と活隊、香 美町いずみ会の方々に講師として料理講習会や料理教室へ の支援を行ったほか、学校給食へ魚等の食材提供を行っ た。 ・魚料理講習会・教室への魚等の提供 45 団体 賄材料費（魚色普及食材料費） 1,534 千円	魚食普及と地産地消のための魚料理講習会や教室へ の魚食材料提供等の支援を行う。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 高い技術力を誇る水産加工品のブランド化、高付加価値化と全国への販売展開 	水産業振興事業費	「香美町魚食の普及の促進に関する条例」に基づき実施した事業及び「香美町と活隊」の活動支援として補助金を交付した。あわせて、町内外で実施した水産物のPRイベント等に係る経費を支援した。	魚食普及、販路拡大に資する水産物PRイベント等を行う水産関係団体に対し支援を行う。
6 - 3 - 2 農林水産課		水産物PR事業補助金 1,105千円	
<ul style="list-style-type: none"> 清流を活かした内水面漁業の振興と観光分野との連携 	水産業振興事業費	矢田川にアユ等の稚魚を放流し、漁獲量の確保と清流を守る意識の高揚、釣り客の増加による観光面での振興等に資する事業に支援した。	アユの遡上の増加や産卵場の形成、カワウ対策等生息環境改善活動を含めた研究、活動に対し支援を行う。
6 - 3 - 2 農林水産課		矢田川等稚魚放流事業費補助金 2,350千円	
具体的な施策② 多様な担い手の育成と後継者の確保【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 地域をあげた「地域計画（人・農地プラン）」策定の推進 	人・農地問題解決推進事業費	地域計画策定に向け、各関係機関と事務分担等に関する連絡調整や地域の話合いと意見交換会を行い40計画（46行政区）の策定を行った。	引き続き未策定地域の策定に向け取り組む。
6 - 1 - 3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 集落営農の組織化、法人化と認定農業者の育成 	町単農業振興対策事業費	持続的・安定的な地域営農を確保にむけ、広域的な営農エリアを包括する農業生産法人等の組織化と大型農業機械機具導入に対する支援を行った。	持続的・安定的な農地保全に向け、引き続き大型農業機械機具導入と法人化への支援に取り組む。
6 - 1 - 3 農林水産課		農業近代化施設整備事業補助金 3,386千円	
<ul style="list-style-type: none"> 「就農希望者セミナー」「U・Iターン相談会」等の開催による新規就農者の確保、異業種からの新規参入促進、2種兼業農家、定年帰農者等による人材の確保 	新規就農・経営継承総合支援事業	「人・農地プラン」に位置づけられる認定新規就農者の支援を行った。また、新たな就農者の確保、移住・定住促進のための就農相談会へ参加した。	新規就農者の確保のため引き続き、相談会やセミナーに参加するとともに、定年帰農者等による人材確保のため新たな支援策を検討する。
6 - 1 - 3 農林水産課		新規就農・経営継承総合支援事業 7,059千円	
<ul style="list-style-type: none"> 女性農業者の連携と元気な高齢者による就農促進、農福連携の促進 	地域特産物販路拡大事業費	二十世紀やオリジナル品種なしおとめ等、「香住梨」のPR及び販路拡大に取り組んだ。また、香美町産米の生産拡大、栽培意欲の向上、競争力の強化を図るため、お米のコンテストを開催したほか、都市部でのPR活動を行った。	引き続き、「香住梨」のPR及び販路拡大や、香美町産米PR活動を行う。また、生産者の栽培意欲の向上のため、お米コンテストを開催する。
6 - 1 - 3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 但馬農業高校や畜産関係大学との連携による新規就農者の定着 	-	法人の1農家で2名の農業大学生や農業高校生の学生（研修生）の受け入れをし、担い手の確保・育成が行われた。	引き続き研修生の受け入れ体制づくりや新規就農への支援を行う。
6 - 1 - 3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 新たな森林経営管理システムの推進等による林業施業従事者の雇用拡大 	森林管理100%作戦推進事業	人工林の間伐、作業道開設に対して継続支援を行った。 ・ 間伐支援 町内2箇所 計16.20ha ・ 作業道開設支援 町内1箇所 計 467m	継続支援を行う。
6 - 2 - 2 農林水産課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 森林所有者やボランティア団体等を中心にした「木の駅プロジェクト」（豊かな森づくり）の推進 	森林環境経営管理事業費	木の駅プロジェクト実施主体である森のステーション美方実行委員会に運営支援を行った。 出荷量 117.83 トン グリーンチケット発券数 1,675 枚	周知活動を継続実施するとともに新規登録者の掘り起こし、出荷量の安定確保に努める。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 香住高等学校海洋科学科との連携や外国人漁業実習生の受入支援等による漁業就労者の確保 	水産業振興事業費	新規漁業就業者や外国人漁業実習生の激励会、修了証書授与式等を行い、町全体で歓迎ムードを醸成することにより、担い手の確保を図った。 ・新規漁業就業激励者 4名 消耗品費（新規漁業就業者激励記念品代） 96千円	新規漁業就業者や外国人漁業実習生の激励会の開催等、町全体の歓迎ムードを醸成し、担い手の確保を図る。
6 - 3 - 2 農林水産課			
具体的な施策③ 未利用資源の発掘と新たな可能性の追求【拡充】			
<ul style="list-style-type: none"> 消費者に受入れられる農林水産物の加工、新商品開発、「ものづくり」・6次産業化への支援 	ものづくり推進事業費	農林水産物の付加価値化と所得向上を図るため、1次産物の加工、商品開発のための試作、研究を進めるとともに、売れる商品づくりを目指し観光商工課の「香美町ものづくり支援事業」との連携を行った。	引き続き、観光商工課の「香美町ものづくり支援事業」との連携を図る。
7 - 1 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 消費者に受入れられる農林水産物の加工、新商品開発、「ものづくり」・6次産業化への支援 	ものづくり推進事業費	町内事業者の新商品開発や既存製品の改良に係る経費を補助した。 ものづくり支援事業補助金 1者 379千円	引き続き制度の周知を行うとともに、制度の見直しにより効果的な制度の構築を図る。
7 - 1 - 2 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 薬用作物、ハウス農業、未利用施設を活用した新規作目の導入検討 	町単農業振興対策事業費	事業未実施	但馬薬用植物研究会等の取り組みを支援するほか、施設園芸など新たな作目の導入についても検討を進める。
6 - 1 - 3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 新品種なしおとめ等の新規平場梨園造成と観光農園の検討 	町単農業振興対策事業費 新規就農・経営継承総合支援事業	新規梨生産者や担い手を育成するため、現在山間傾斜地で行われている梨生産を平場での栽培に移行するためのモデル梨園整備を関係機関と連携のもと行った。	引き続き、平場園の可能性と観光農園について調査研究を進める。
6 - 1 - 3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 作業の省力化を目指したスマート農業の推進 	町単農業振興対策事業費	美方郡農業改良普及事業推進協議会の主催により、スマート農業技術導入の足がかりにするため、日本国内の主なメーカーが一堂に会し、ラジコン草刈り機などの実演会を行った。 農業近代化施設整備事業補助金 3,386千円	今後も実証実験を進め、作業の効率化、省力化が実証されればドローンなどスマート農業用の機械器具の導入支援を行う。
6 - 1 - 3 農林水産課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣対策の推進に合わせたジビエ利用の研究 	有害鳥獣対策費	事業未実施	意欲を持つ民間事業者が現れた際に、随時情報提供等を行う。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 製材、木材加工など新たな林業事業者の創出 	—	事業未実施	意欲を持つ民間事業者が現れた際に、随時情報提供等を行う。
6 - 2 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 栽培漁業及び蓄養殖の推進 	水産増養殖対策事業費	サザエ、アワビ、カサゴ、キジハタの稚貝、稚魚放流を行うことにより、栽培漁業、資源管理型漁業への素地づくりを進めるとともに、水産資源の増強及び水産物の安定供給支援を行った。サザエ20千個、アワビ12千個、カサゴ5千尾、キジハタ2千尾 魚貝類種苗放流事業補助金他 650千円	水産資源の増強、水産物の安定供給に資する稚貝稚魚の放流事業に対し支援を行う。
6 - 3 - 2 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅等と連携した農作物等直売グループの育成 	—	道の駅や朝市に農産物等を出荷販売するグループ等の活動を支援した。	引き続き、直売グループ等の活動支援を行う。
6 - 1 - 3 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 食と農林漁業の体験、周遊滞在ツアーの実施 	観光振興費	現時点で農林漁業を主とした体験滞在ツアーの事業化はされていないが、体験型観光を視野に入れたコンテンツの創作も検討している。	農林漁業体験を受け入れる事業者があれば、周遊コースの設定、PRを積極的に行っていく。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 異業種連携による起業・創業の支援、国県町制度の紹介及び情報提供 	地域しごと支援事業費	事業未実施	産業活性化協議会を開催し、異業種間での意見交換を含め、今後の取り組みについて検討する。
7 - 1 - 2 観光商工課			

■施策の柱3 地域産業の競争力強化（観光分野）

具体的な施策① 観光振興計画の戦略的な展開とインバウンド対策の推進【拡充】

<ul style="list-style-type: none"> 観光振興計画の戦略的な展開 	観光振興費	観光振興計画アクションプランの目標達成に向け、観光ホームページのコンテンツを充実させるため、定期的に検討会議を開催し情報発信に取り組んだ。情報発信については、観光ホームページのアクセスが順調に増加している。	DMO及び関連団体との連携により、観光客のニーズをとらえた広域的な周遊観光を充実させる。インバウンド対策についても連携を強化し、集客できるコンテンツを検討する。
7 - 1 - 4 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 若年層などの新たな顧客の誘客 	観光振興費	専門職大学との連携により、学生が実際に香美町の観光施設等を訪れ、魅力を感じた資源を発掘しSNSによる情報発信を行った。 R6受入人数 3名	専門職大学生との連携を継続する。若者層の視点から引き続き香美町の魅力を発見する取組を行う。
7 - 1 - 4 観光商工課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・観光協会の統合による観光振興の一体的な推進 7-1-4 観光商工課	観光振興費	観光連絡協議会及び実務者レベルで合併に向けた協議を継続したが、令和7年度での統合は断念した。	統合に向けた再調整を行う。各観光協会の課題、実務者レベルの課題を洗い出し、統合に向けた協議を行っていく。
・地域固有の文化や資源の再発見（見直し）と観光資源としての活用 7-1-4 観光商工課	観光振興費	関係機関と連携し、新たな観光資源の発掘及びモニター等を活用した観光資源の魅力発信事業を実施した。（麒麟のまち観光局 インフルエンサー3名）	関係機関と連携をさらに強化し、地域の者では気づかない資源を発掘し、広報・宣伝していく。
・麒麟のまち観光局やオール但馬による広域観光連携事業の展開 7-1-4 観光商工課	（目）観光費一般経常費 観光振興費	単独市町で不足する観光資源を麒麟のまち観光局や但馬観光協議会との連携により補い、情報発信などを積極的に行った。	関係機関が実施するツアーガイドの育成及びモニターツアー参加者に回答いただいたアンケート結果を参考に、周遊企画の見直しや旅行企画を検討する。
・旅行メディア等を活用した情報発信、定期的、効果的なプレスリリースの実施 7-1-4 観光商工課	香美町役場神戸営業所事業費	事業実施なし（神戸営業所閉鎖のため）	神戸営業所で得たコネクションなどを通じて、メディア露出を積極的に行っていく。
・インバウンドを増やすためのハード整備（看板キャッシュレス化等）の推進とモニターツアー、OTAの活用 7-1-4 観光商工課	観光振興費	麒麟のまちDMO等による情報発信やツアー造成に取り組んでいる。インバウンドの波及効果が見られるほどの状況にないが、個別の宿泊施設の利用や、観光施設への来訪は見られているが、団体で大量に流入といった状況にはなっていない。	インバウンド受入については事業所の温度差もある。関西万博を好機ととらえ、積極的に取組を行う。
具体的な柱② 地域資源（豊富な食材・豊かな自然）を活かす取り組み【拡充】			
・香美町グルメのPR（アプリの充実など） 7-1-4 観光商工課	観光振興費 香美町役場神戸営業所事業費	事業実施なし（神戸営業所閉鎖のため）	神戸営業所で得たコネクションなどを通じて、メディア露出を積極的に行っていく。
・地域固有の文化や資源を活用した誘客の促進 7-1-4 観光商工課	観光振興費	関係機関と連携し、新たな観光資源の発掘及びモニター等を活用した観光資源の魅力発信事業を実施した。（麒麟のまち観光局 インフルエンサー3名）	関係機関と連携をさらに強化し、地域の者では気づかない資源を発掘し、広報・宣伝していく。
・新商品（グルメ・お土産）の開発とPR 7-1-4 観光商工課	—	商品開発に必要な経費等を町補助事業により支援した。また、商工会により香美町の名品として登録された場合には積極的にPRを行った。	引き続き、町補助事業による支援及びPRを行う。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する	
数値目標	新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
・「カニ」と「肉」を美味しく食べさせるコンシェルジュ(マイスター)制度の創設	7-1-4	観光商工課	事業未実施	関係機関や事業者の意向も調査し、実施の可否について検討する。
	7-1-4	観光商工課	事業未実施	関係機関や事業者の意向も調査し、実施の可否について検討する。
具体的な柱③ 滞在時間延長と観光消費額を増やす取り組み【継続】				
・体験プログラムのPR(体験カレンダー作成、遊び体験サイトの活用)	7-1-4	観光商工課	観光ホームページにより、体験型コンテンツ及び事業者紹介を行った。	引き続き、観光ホームページによるPRを行い、新たなコンテンツが作成された場合には、SNS等でPRを行っていく。
	7-1-4	観光商工課	観光協会を中心とした関係機関を通じ、事業者へ観光客のニーズや情報提供を行った。	引き続き情報提供を行いながら、新たなコンテンツを造成する事業者への支援策を検討する。
・新たな体験プログラムの作成	7-1-4	観光商工課	観光協会を中心とした関係機関を通じ、事業者へ観光客のニーズや情報提供を行った。	引き続き情報提供を行いながら、新たなコンテンツを造成する事業者への支援策を検討する。
	7-1-4	観光商工課	麒麟のまち観光局によるモニターツアー参加者からのアンケート及びこのへん共和国に登録いただいた方にアンケート調査を行った。	情報収集を行いながら、麒麟のまち観光局が主体となり、観光客のニーズに応える広域ツアーの造成に取り組んでいく。
・悪天候でも満足できる体験型観光商品づくり	7-1-4	観光商工課	現時点で新たな商品づくりはできていない。	屋内で体験できるコンテンツは限られているが、新規事業化に向けて、関係機関と協議を行っていく。
	7-1-4	観光商工課	ジオガイドの養成講座、ジオカヤック体験会、海上タクシー体験乗船会、ウォーキングなどを行い、各種体験を通じてジオパークの魅力の発信を行った。	引き続き各種体験会を実施し、新たなコンテンツを創出する。
・まち歩きできる町並み環境、空間づくり	7-1-4	観光商工課	地域が一体となった観光地づくりのための補助事業の紹介などを行ったが、事業者間の調整が取れず実施には至らなかった。(国の補助事業)	国の補助事業は終了したが、引き続き町並み環境や空間づくりに取り組んでいく。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			

■施策の柱4 香美町への人材還流と就労対策

具体的な施策① 若者人材等の還流及び育成・定着支援【継続】

<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の募集等による若者層を中心としたふるさと回帰の促進 	地域おこし協力隊活動事業費	<p>町HP、民間サイトへの求人情報掲載に加え、移住スカウトサービスを活用し情報の発信、協力隊の新規募集を行ったが採用には至らなかった。また、受入促進を図るため、おためし地域おこし協力隊を実施した。</p> <p>・令和6年度新規着任隊員数 0名</p>	協力隊に興味を持たれた方、移住を検討されている方に対してきめ細やかなフォローアップを行い、隊員、移住者及び地域住民による関係人口の創出に努める。また、引き続きお試し地域おこし協力隊に取り組み、住民との交流、受入促進、着任後のミスマッチを防ぐ。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域に定着できるグローバル人材の育成 	高校魅力化支援事業費	<p>村岡高校地域アウトドアスポーツ類型の生徒を募集するため、地域みらい留学制度を活用したオンライン説明会やオープンハイスクール等を実施し、全国の若者人材の還流を目指した。</p> <p>香住高校海洋科学科の生徒を募集するため、オープンハイスクールで全県学区募集を実施し、県内の若者人材の還流を目指した。</p> <p>高校魅力化支援事業補助金</p> <p>・香住高校 1,000千円</p> <p>・村岡高校 1,800千円</p>	引き続き、オンライン説明会やオープンハイスクールを実施し香住高校、村岡高校それぞれの魅力ある教育活動を広く周知し生徒を募集することで、若者人材の還流を目指していく。
2 - 1 - 8 企画課			

具体的な施策② 高等学校等における次代の地域を育てる人材育成支援【拡充】

<ul style="list-style-type: none"> 地場産業振興に向けた人材育成のための大学・専門教育機関等の試験研究施設等の誘致への取り組み 	—	事業未実施	気候温暖化等の影響による漁場環境の変化や漁獲の低迷等多くの課題を抱える中、大学等研究機関との連携による課題解決に向けた取り組みを目指す。
- 農林水産課			
<ul style="list-style-type: none"> 幼小中高が連携したふるさと教育の推進 	—	<p>村岡高等学校：和紙づくりを地域の伝統文化として伝承すべく授業科目に取り入れ、その一環として地元小学校と紙漉き体験を実施した。</p> <p>香住高等学校：プランターに花を植え、香住区内の保育園、幼稚園、小学校に届けた。</p>	高校支援連絡会で協議を行いながら、引き続き地域資源を生かした課外活動ができる体制づくりを検討する。
教育総務課/生涯学習課			
<ul style="list-style-type: none"> 官民学地協働による「地域が育てる学力」と「地域を育てる学力」の向上を推進する組織の構築 	高校魅力化支援事業費	既存のコンソーシアムや学校運営連携協議会において、多種多様な意見を交換し官民学地それぞれの目線で魅力ある高校づくりに努めている。	コンソーシアムなどの活動を継続することで、学校と関係者の結びつきの活性化を図り、魅力ある高校づくりをさらに推進する。
2 - 1 - 8 企画課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間(2020年度-2025年度の累計)で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管 ・香住高校、村岡高校の魅力化を図り、次代の地域を育てる若者の育成支援 2 - 1 - 8 企画課/教育総務課	高校魅力化支援事業費	香住高校、村岡高校の生徒が地域に出て学び、地域における特有の課題解決や地域づくりに参画し、地域住民との交流を通して地域への愛着や誇りを育む活動の支援を行った。 高校魅力化支援事業補助金 ・香住高校 1,000 千円 ・村岡高校 1,800 千円	町内の県立高等学校の存続発展と地域の活性化のため、事業の充実を図る。
・町内高校の存続発展と高校発展による地域の活性化促進 10 - 1 - 2 教育総務課	高校魅力化支援事業費	県立村岡高等学校に在学し、遠距離等で通学困難な生徒が町内に下宿する場合、その保護者に対し下宿費の補助を行った。 村岡高等学校 1年生 3名 1,040 千円 2年生 4名 1,920 千円 3年生 8名 3,640 千円 計 15名 6,600 千円	町内の県立高等学校の存続発展と地域の活性化のためにさらに多くの町外からの就学生徒を取り込む必要があり、事業の周知と下宿先の確保を高校と連携して行う。
・町内企業との連携を強化した高校生の社会的自立と地元定着に向けたキャリア教育の推進 2 - 1 - 8 企画課	高校魅力化支援事業費	高校による総合的な探求の時間により町内企業と連携することで、企業の魅力を再発見し地元就職へ繋げることができた。 高校魅力化支援事業補助金 ・香住高校 1,000 千円 ・村岡高校 1,800 千円	引き続き活動の成果を発表、PRすることで地域内外へ情報発信を行う。
・町内企業との連携を強化した高校生の社会的自立と地元定着に向けたキャリア教育の推進 2 - 1 - 8 観光商工課	-	事業未実施	実施に向けた調査研究を行う。
・地元出身の大学生等の就職を支援する「ふるさと就活」の実施 7 - 1 - 2 観光商工課	(目) 商工業振興費 一般経常費	新規学卒者に対する企業紹介ガイドブック(2,200冊)を作成、配布した、 企業ガイドブック作成費 876 千円	地元企業の魅力をより分かりやすく発信できる内容に刷新していく。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅰ 香美町における安定した就労の場を創出する

数値目標	新規就労者数 6年間（2020年度-2025年度の累計）で70人
------	----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
新規就労者数	8人	5人	4人	8人	14人		39人

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
具体的な施策③ ICT（情報通信技術）等の利活用による地域活性化【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを活用した「まちの情報」提供システムの構築 	移住定住対策費	インスタグラムやフェイスブック、LINEを活用し、町の魅力や暮らしについて情報発信を行ったことにより、移住相談につながった。	令和7年度以降も引き続きSNSを活用した情報発信を行う。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住定住サイトを活用した空き家や空き店舗、遊休施設情報の提供 	移住定住対策費	利活用可能な空き家等の情報を移住定住ウェブサイトにて一元化して提供することで、15件の空き家が活用された。 ホームページ保守委託料 1,309 千円 報償費（町民ライター） 12 千円	移住定住支援ウェブサイトで情報発信を続けるとともに、空き家の調査を専門知識を持つ事業者に委託することで空き家情報の充実化を図る。
2 - 1 - 7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTベンチャー等のサテライトオフィス、シェアオフィス等の誘致への取り組み、空き家等の活用支援 	移住定住対策費	支援事業を利用し、引き続き1件の事業所を支援した。 IT関連オフィス等開設・設置支援事業補助金 81 千円	新規事業所開設支援やオフィス誘致に取り組んでいく。
2 - 1 - 7 企画課/観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業との連携による多様なテレワークモデルの開拓、導入への継続した取り組み 	移住定住対策費	テレワーク環境を整備した3箇所の施設を活用できるように推進した。	令和6年度以降も引き続きワーケーションを推進し、テレワーク環境を整備した3箇所の施設も活用できるように推進する。
2 - 1 - 7 企画課/観光商工課			

基本目標 Ⅱ

香美町への新しいひとの流れをつくる

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯	5世帯	6世帯		40世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
------	-----	-----------------	-----------

■施策の柱1 まちの魅力を発信し、香美町への新しいひとの流れをつくる

具体的な施策① 地方移住希望者への情報発信と支援体制の強化【継続】

<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者及び移住者を支援する専門部門の設置と移住コーディネーターの設置 	移住定住対策費	令和6年度の移住者実績は9世帯14人 移住相談員による移住希望者への地域の介入支援により移住を促進し、また、移住者へアフターフォローを行うことにより、定住の促進を図った。	移住支援員の活動日を職員の対応が難しい土日にする ことで移住者層の拡大を目指す。
<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住フェア等の参加や各種メディアを活用した積極的な情報発信 	移住定住対策費	都市部で開催された移住フェアに参加し、移住希望者に町の情報を提供し、16組の相談を受けた。 記事5本を移住定住ウェブサイトで公開し、移住後や町民の生活など情報を発信した。 会場借上料（移住フェア） 613千円	移住フェアに参加し、町の魅力や住みやすさなどをPRする。また、鳥取県域や但馬地域の自治体間で協力し、地域全体の移住者数増加を目指す。香美町HPリニューアルに合わせてより利便性が高くなるよう移住定住ウェブサイトの新しい活用法を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・より効果のある移住者支援体制の構築と強化 	移住定住対策費	兵庫県域や鳥取県域の他自治体と連携しながら移住フェアに参加し、移住希望者に町の情報を提供した。また、まちなか移住相談室の活用により、移住者後の不安に対するケアを行った。	引き続き県や民間が主催する移住フェアに参加し、町の情報を発信し移住希望者を増やす。 まちなか移住相談室の認知度向上の方法を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者と地域住民が不安を感じる事のない移住者の受け入れ（支援）体制の整備 	移住定住対策費	移住者へ補助金制度の説明や、地域ごとの特色や生活上の注意点などの説明を積極的に行った。まちなか移住相談室で移住相談を受けており、相談員の地域介入支援による移住者への不安の軽減を図った。	まちなか移住相談室との連携強化を図り、移住者の不安解消を行うだけでなく、移住後のアフターフォローも行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・将来の定住を視野に入れた地域おこし協力隊の受入体制の強化と多様な地域協力隊の検討 	地域おこし協力隊活動事業費	地域おこし協力隊の募集時において、将来の生業づくりと定住を見据え、効果的な地域協力活動の検討及び受け入れ態勢の強化に取り組んだ。令和6年度は退任者3名に対して新規採用者は0名であり、隊員の総数は2名となった。	国のアドバイザー制度等の活用も検討し、隊員にとっても地域にとっても魅力のある業務を創出していくとともに、おためし地域おこし協力隊制度を活用し、着任後のミスマッチを防ぐ。
<ul style="list-style-type: none"> ・移住者のニーズに合ったお試し田舎暮らし制度の提供 	移住定住対策費	空き家バンク登録物件を活用し1名がお試し住宅制度を利用した。 空き家利活用促進支援補助金（お試し住宅家賃補助） 225千円	引き続きお試し住宅希望者に対して家賃補助を行い定住につなげる。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯	5世帯	6世帯		40世帯

取組内容 予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
具体的な施策② 空き家の利活用と移住しやすい環境の整備【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 「WONDER KAMI」による空き家情報の発信強化 	移住定住対策費	空き家情報を提供する以外に、動画を利用した移住者や町民の紹介記事を作成し、町での暮らしに関する情報を提供し、さらなる魅力向上を図った。 ホームページ保守委託料 1,309千円 報償費（町民ライター） 12千円	詳細な空き家情報の公開と町民ライターによるインタビュー記事、ブログ記事の更新を行い、引き続き情報発信を強化させる。家屋の専門事業者に空き家調査と資料作成を依頼することで空き家情報の充実化を図る。
2-1-7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 空き家の利活用に関する支援の強化と利活用可能な空き家の掘り起こし 	移住定住対策費	定住支援活動奨励金及び空き家活用助成金により、利活用可能な空き家の掘り起こしを行い、24件の空き家登録があった。 定住支援活動奨励金 50千円 空き家活用助成金 440千円	空き家の調査を不動産事業者に委託することで情報発信力を高め、空き家の取引活性化を目指す。
2-1-7 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 空き家等を活用したシェアハウス、シェアオフィス、サテライトオフィスの開設支援 	移住定住対策費	支援事業を利用し、引き続き1件の事業所を支援した。 ICT関連オフィス等開設・設置支援補助金 81千円 空き家利活用促進支援補助金（空き家改修工事補助） 8,105千円	引き続き新規事業所開設の支援やオフィス誘致に取り組んでいく。
2-1-7 企画課/観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 分譲地の情報発信、魅力アップによる移住促進 	区画整理事業費	香美町山手土地区画整理組合の解散に向けて支援を行い、組合解散に至った。また公有地の拡大の推進に関する法律に基づく土地の購入を行い、山手土地区画への防災拠点の建設に活用した。	引き続き山手公園の管理を行う。組合解散後の町有地の有効活用の方法について検討する。
8-6-2 企画課			
具体的な施策③ 町内の基幹作業の新たな担い手の確保			
<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ等、新規就業者の発掘と事業者へのマッチング支援 	(目) 労働諸費 (目) 商工業振興費 一般経常費	新規学卒者に対する企業紹介ガイドブック（2,200冊）を作成、配布した、 企業ガイドブック作成費 876千円	地元企業の魅力をより分かりやすく発信できる内容に刷新していく。
5-1-1 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 人手不足解消に向けた外国人労働者の雇用促進と住民が不安を感じることはない受入方法の検討 	商工業振興関係諸事業	外国人実習生等を受け入れた事業者に対して、費用の一部を補助した。 ・対象事業者5者、雇用数15名 外国人受入費用補助金 1,749千円	労働力確保のため、外国人労働者の就労対策、生活支援を行う。
7-1-2 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 後継者問題を抱える事業者が取り組む継業への支援 	地域しごと支援事業費	兵庫県事業引継承継センターと連携し、事業承継等を検討されている方を対象に個別相談会を実施した。 ・相談件数 4件	承継の意志があっても後継者がいない方、承継できる方を探している方など様々な事業者があるため、引き続き、事業承継引継センターの専門家による相談会を継続する。
7-1-2 観光商工課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯	5世帯	6世帯		40世帯

取組内容 予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
具体的な施策④ 農林水産関係の研究施設等の誘致【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 大学・専門研究機関等の農林水産業等の研究施設等の誘致への取り組み 	大学連携推進事業費	姫路大学との連携により畜産研究センターの設置を計画したが、実施には至らず、令和6年度は取り組みを行わなかった。	姫路大学との連携協定内では農林水産業に係る取り組みを実施できる見通しがないことから、今後は実施しない。
<ul style="list-style-type: none"> 大学・専門研究機関等の農林水産業等の研究施設等の誘致への取り組み 	養殖場設置に係る利用可能地提案	事業未実施	気候温暖化等の影響による漁場環境の変化や漁獲の低迷等多くの課題を抱える中、大学等研究機関との連携による課題解決に向けた取り組みを目指す。
■施策の柱2 若者が香美町で暮らしたいと思える環境整備			
具体的な施策① 次代対応型の仕事の場づくり			
<ul style="list-style-type: none"> 新技術、業務分野を担う起業、創業、事業承継への支援 	地域しごと支援事業費	創業支援セミナー、個別相談を開催した。 ・ 創業支援セミナー 4回 6人 ・ 個別相談 6日間 延べ8人 創業支援計画事業委託料 1,500千円	制度を周知し、意欲のある起業家を支援する。
<ul style="list-style-type: none"> 介護分野等における人材確保等、受け入れ事業所への支援 	介護職員確保対策事業費	平成29年4月以降に町内介護事業所に新規採用された介護職員で、1年、2年、3年を経過した方61名へ助成金計5,825千円を交付し、3年経過した介護職員がいる3事業者へ助成金1,800千円を交付した。また、外国人介護職員2名を新たに雇った事業者へ406千円を助成した。	<ul style="list-style-type: none"> 町内介護事業所に新規採用された介護職員で、1年、2年、3年を経過した方へ助成金を交付する。 I・Uターンを行い町内介護事業所に勤務する職員に対し家賃（上限2万円/月）を助成する。 利用者側からの暴力行為等により訪問看護師・訪問介護員が複数で訪問する場合、加算相当額の2/3を助成する。 外国人を介護職として雇用した場合、受入経費の1/2（上限50万円）を助成する。 県奨学金返済支援制度本人向け補助が対象の場合、県負担分を除いた額の1/2を助成する。
<ul style="list-style-type: none"> 起業を目指す人が集うことができる拠点づくり 	-	事業未実施	町有施設に設置しているワーケーションスペース、まちなか移住相談室の交流スペースの活用を行い、起業を目指す人が集う拠点作りの推進に努める。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯	5世帯	6世帯		40世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
具体的な施策② U・Iターンの促進			
・Uターン就職者、希望者への支援 - - 観光商工課	-	企業面接・説明会の場や企業ガイドブックを活用し、Uターン就職者、Uターン就職希望者を支援し、若者就労者増加を目指した。	Uターン就職者、Uターン就職希望者に対して企業紹介や企業情報を提供するなど就労支援を行う。
・若者を対象とした雇用・就農相談及び企業とのマッチング事業支援、就職フェア、企業紹介フェアの開催支援 5 - 1 - 1 観光商工課	(目) 労働諸費 一般経常費	オンラインとリアルでのハイブリッド形式で企業説明会を合同開催した。 ・参加企業 40社（内町内企業1社） ・参加学生等 27名 企業説明会参加負担金 0千円	他の関係機関とも協力・連携し、企業説明会の町内参加企業を増加させ、新規卒卒者・UIターン希望者に対する企業とのマッチング機会を増やす。
・農業体験や農業研修の受け入れと就農、定着支援 6 - 1 - 3 農林水産課	新規就農・経営継承総合支援事業費	認定研修機関「香住なしの学校」を令和5年4月に開校した。R5年に1期生が入校、R6に2期生が入校し、R7年に1期生が就農、2期生は現在研修中。 新規就農・経営継承総合支援事業 7,059千円	第3期生の確保に向け、就農相談会に積極的に参加し、後継者の確保と梨産地の維持を図る。
・地域おこし協力隊の定住に向けた総合的支援 2 - 1 - 7 企画課	地域おこし協力隊活動事業費	R6年度に任期を迎える隊員に対し、町の地域おこし協力隊起業補助制度の活用を提案し、退任後の定住に向けた起業・就業等の支援を行った。 地域おこし協力隊起業支援補助金 1人 1,000千円	現行の補助制度を維持するとともに、隊員が任期中に起業・就業活動を行う場合のサポート体制を構築することで、定住者の増加に繋げていく。
■施策の柱3 豊かな地域資源を活かし、香美町への集客と交流を促進する			
具体的な施策① 山・川・海の魅力発信の強化と、特色ある体験型観光の充実【継続】			
・山・川・海を活用した年間を通じて楽しめる遊び体験づくり 7 - 1 - 2 観光商工課	観光振興費	海、山のアクティビティについて、ホームページ「香美町観光ナビ」にまとめ、季節ごとに更新することで情報発信を行った。	充実した事業展開を図るため、中心となる観光協会の合併を進める。
・3区観光協会による連携イベントの開催 7 - 1 - 2 観光商工課	-	観光協会の合併協議もあった中で、合同イベントの実施には至っていない。	令和7年度時点で合併が延期になったことで、協力体制の強化を図るため3区合同の事業を創設するように促す。
・カニと但馬牛を核とした「四季の食」による年間誘客の促進 - - 観光商工課	観光振興費	ホームページ「香美町観光ナビ」による情報の集約により、情報発信及び誘客を行った。	観光協会を中心に今後も情報収集、魅力あるサイトの構成により情報発信し、誘客を図る。
・神戸営業所を中心とした、旅行メディアを活用した情報発信と定期的なプレスリリース、観光PR動画の制作と活用 7 - 1 - 2 観光商工課	香美町役場神戸営業所事業費	事業実施なし（神戸営業所閉鎖のため）	神戸営業所で得たコネクションなどを通じて、メディア露出を積極的に行っていく。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯	5世帯	6世帯		40世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業を体験するツアー等の受入体制の拡充 	観光振興費	現時点で農林漁業を主とした体験滞在ツアーの事業化はされていないが、体験型観光を視野に入れたコンテンツの創作も検討している。	農林漁業体験を受け入れる事業者があれば、周遊コースの設定、PRを積極的に行っていく。
<ul style="list-style-type: none"> 体験型アクティビティの商品化と販路体制整備への支援 	観光振興費	麒麟のまち観光局事業として、体験コンテンツの掘り起こしを実施した。	継続して魅力的な体験コンテンツの発信を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレットやホームページの多言語対応整備やキャッシュレス化によるインバウンド対策の推進 	観光振興費	多言語観光パンフの増刷、多言語ホームページの更新を行った。キャッシュレス化については未着手。	関西万博を好機ととらえ、ターゲットを絞ったインバウンド対策を進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> インバウンド向けコンテンツの開発とモニターツアーの実施 	観光振興費	麒麟のまち観光局事業として、インバウンド向けの観光商品づくりやプロモーション事業の検討を進めた。	関西万博を好機ととらえ、ターゲットを絞ったインバウンド対策を進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> 文化遺産や地域資源を活用した町内周遊ツアーの構築 	観光振興費	観光協会とともに、香美町観光ナビの中でモデルコースを編成し、その中の体験・立ち寄りスポットとして紹介し、旅行者の嗜好で選択できる仕組みとしている。	観光資源の個々の魅力についてブラッシュアップし、随時、ツアーの見直しを行う。
具体的な施策② スポーツによる交流人口の増大【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> マラソン、ウォーキング、ハイキングへの参加者の拡大とリピーター増加への取り組み 	-	<p>村岡ダブルフルウルトラランニングでは、令和5年度に参加者へアンケート調査を行い満足度80%以上の回答が90%であった。令和6年度はより細かく大会見直しの意見を徹するため、エイド、救護等のスタッフにアンケート調査を行い、備品不足の解消、ラインを使った情報共有等を行い、大会の改善を図った。エントリー委託業者が実施している大会評価では、100点満点中83.9点となり、一定の評価を得た。</p> <p>みかた残酷マラソン全国大会も同様にスタッフから改善点の聞き取りを行い、駐車場不足の解消、担当主任の明確化など改善を図った。また、地域密着型の大会であることから、地元住民の意見も大切にしている。</p> <p>ハイキングは、山に登るだけでなく、途中、地域の歴史の話しを交えるなどの工夫を凝らしており、90%を超える満足度となっている。</p>	<p>今後、引き続き、アンケート調査、意見の聞き取り等を行い、結果を基に実行委員会と情報の共有を行う中、大会のブラッシュアップを図り、参加者の拡大とリピーターの確保を行う。</p>

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯	5世帯	6世帯		40世帯

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針	
	予算区分	所管			
・「ワールドマスターズゲームス 2021 関西」での競技運営による外国人選手の受け入れ	10 - 6 - 1	生涯学習課	本大会への機運維持を図るため、イベント等と同時に開催してのオリエンテーリング体験会や、小学校の自然学校での体験、講習会を開催した。（86人）また、香美町の情報を発信するためのホームページの更新、外国人選手宿泊受入にかかる意向調査を実施した。	本大会2年前となる2025年は、選手の受入体制を整えるため本格稼働することとし、オリエンテーリング体験会、ホームページの更新を継続実施する他、町大会運営委員会の再開や、PR看板等の設置、宿泊施設の確保、散策マップの作成等、大会開催に向けて受入準備を進める。	
・山・川・海を活用した新規スポーツイベントの計画と実施によるスポーツツーリズムの取り組みの推進	-	-	生涯学習課	事業実施年度を令和5年度としていたが、準備が整い、令和4年度から「山岳縦走2days登山」、1泊2日で4つの山を登る登山を実施し、3回の実施に至った。（参加者50人、満足度93% 前年参加者41人）また、参加者を香美町ファンに導くため、登山参加者を対象に冬の瀬川山山頂を目指すスノーシューハイキングを実施している。（参加者10人、満足度100% 前年参加者11人）イベントは参加者の参加費で賄っており、また、満足度も高く、スポーツツーリズムの推進に一定の効果があるものと考えている。	参加者からのアンケート調査から、グループの細分化、歩くペースの調整などの意見があり、今後、意見をもとにイベントのブラッシュアップを図るとともにリピーターを確保する。また、現在イベントは生涯学習課を事務局としているが、令和7年度からイベント運営ノウハウを任意団体へ引き継いでいき、地域イベントとしての定着を図る。
・利用頻度の低い屋外運動施設の利活用計画の策定と実施	-	-	生涯学習課	利用頻度の低い小代健康公園の一部（大谷側の芝生広場）は、3年間の民間団体の試験運用の結果、一定の誘客を得ており、令和6年度から、健康公園の一部を指定管理とし、キャンプ場として活用を図り年間552人の利用者を得た。	随時、指定管理者と情報交換を行い、安定した管理運営になるよう努めるとともに、先進地の情報を基にアドバイスをし、利用者の増加を図る。
・大学生等のスポーツ合宿の誘致と地元交流の促進	-	-	生涯学習課	令和3年度に意向調査、令和4年度に調査結果、優良事例を基に合宿の受入を希望する宿泊施設と合宿誘致のためのワークショップを開催、令和5年度に地域、施設の意向、誘客方法を検討し、誘致期間、ターゲットの絞り込みを行っている。令和6年度は宿泊施設に大学生誘客パンフレットの作成を促すが未作成であり、香美町大学生フィールドワーク等補助金交付事業実施を促し幾分誘客が行われた。	兵庫県においてスポーツコミッション設立の動きがあるため、県と共同して合宿での誘客方法を考え、宿泊施設とともに、できること、やること等の検討を行い、行動を促す。
・日本体育大学等とのスポーツ交流の拡大	10 - 6 - 1	生涯学習課	日本体育大学より講師と現役バレー部部員2人を招き、バレーボール教室を2会場で実施し80人の参加者を得た。講習会では、バレーボールでの身体の動きなどについて講義、トス、レシーブの基礎、体幹を使ったブロック練習など、幅広い技術を学んでいただき、レベルの向上を図ることができた。また、陸上・駅伝教室として、オリンピック小林祐梨子氏を招き、ストレッチ、身体の使い方や走ることの基礎を学んでいただいた。	香美町スポーツ振興計画に位置付けられた香美町ならではのスポーツ種目や、町スポーツ協会が実施する種目を中心に日本体育大学等から講師を招き競技レベルの向上を図る。	

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅱ 香美町への新しいひとの流れをつくる

数値目標 若い世帯の新たな移住 6年間（2020年度-2025年度の累計）で90世帯

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
若い世帯の移住	6世帯	10世帯	13世帯	5世帯	6世帯		40世帯

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・町のイベント等を活用した村岡高校の魅力発信の推進 - - 企画課/教育総務課		みかた残酷マラソン、村岡ダブルフルウルトラランニング等へのボランティア参加を通じ、地域活動の発信に取り組んだ。	引き続き町のイベント等へ参加していただける体制づくりに努め、地域・高校の魅力発信に取り組む。
具体的な施策③ 文化遺産や地域資源を活用した誘客の促進【継続】			
・和牛改良の礎を築いている但馬牛のルーツの世界発信、但馬牛の歴史、価値の情報発信 - - 農林水産課	畜産振興対策事業費	令和5年7月に世界農業遺産に認定された後も協議会の構成員である兵庫県、新温泉町、JAたじま、その他関係団体と連携を図り、ロゴマークの決定、保全活動及びPR活動に取り組んだ。	引き続き世界農業遺産を町内外へPRし、より一層の美方郡産但馬牛ブランド力向上と畜産振興を図る。
・香美町の歴史文化遺産を活用した情報発信と新規誘客 7 - 1 - 2 観光商工課	観光振興費	香美町観光ナビの中で、神社仏閣・史跡・名称のカテゴリを設け、情報発信を行った。	歴史文化遺産の魅力発信としては個々のストーリーなど、見せ方を工夫していく。
具体的な施策④ 友好都市等、都市部住民との交流促進と関係人口の拡大【継続】			
・体験施設を活用した交流事業の構築による誘客 7 - 1 - 2 観光商工課	ジオパークと海の文化館運営事業費	ジオパークと海の文化館の体験施設を活用し、都市部の自然学校や団体観光客を誘致し、交流の促進を図った。 ・入館者数11,158人 体験実習者601人	引き続き、ジオパークと海の文化館の施設を活用し、体験メニューを醸成し、交流人口の増加を図る。
・「香美町フェア」等各種イベントにおける特産販売、観光PRの促進 7 - 1 - 2 観光商工課	香美町役場神戸営業所事業費	事業実施なし（神戸営業所閉鎖のため）	神戸営業所で得たコネクションなどを通じて、イベント等を積極的に行っていく。
・芸術、文化、スポーツ等を通じた相互交流の推進 2 - 1 - 10 企画課	国内交流事業費 姉妹都市交流事業費	姉妹都市交流事業は、例年実施している門真市とのグラウンドゴルフ大会は、台風の影響で中止となった。国内交流事業は、兵庫5カ国交流会議が解散となり、事業の実施はしていない。	引き続き、門真市との姉妹都市交流事業を継続する。
・芸術、文化、スポーツ等を通じた相互交流の推進 10 - 6 - 1 生涯学習課	(目) 保健体育総務費 一般経常費	下記の大会等を開催し、交流人口の増加を図った。 ・村岡ダブルフルウルトラランニング 1,700人（前年比93%） ・みかた残酷マラソン全国大会 2,637人（前年比104%） ・兵庫県雪合戦大会 320人（前年比133%） ・木漏れ日ウォーキング（台風の為、中止） ・ジオパークウォーキング 21人（前年比175%） ・豊岡演劇祭香美町公演2025（2公演）574人（前年比213%）	各実行委員会等と、聞き取り調査、アンケート調査等の情報を共有し、ニーズや、参加者目線での事業としてブラッシュアップを図り、交流人口の拡大に努める。

基本目標 Ⅲ

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
■施策の柱1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援			
具体的な施策① 出会い・結婚支援【継続】			
・ライフプランを設計する機会の提供	結婚支援対策費	町内の高校2年生を対象にライフデザインセミナーを実施し、結婚や子育て、仕事を含めた人生設計を前向きに考える機会を提供した。 ライフデザイン構築支援事業委託料 990千円	セミナーで回収したアンケート結果を参考に内容を検討し、町内の高校生が関心を持つような、より充実した内容のセミナーを引き続き開催する。
2-1-7 企画課			
・カフェ、ショップ、コミュニティ拠点等、自然に交流できる場の創出及び利用促進	地域コミュニティ活性化事業費	若者が交流できる機会を創出することはできたが、県や町の支援事業を活用したコミュニティ拠点の整備には至らなかった。	地域内外の若者が気軽に交流できる場所及び機会を創出するため、意見交換会や居場所の整備、交流会を行う。
2-1-8 企画課			
・ボランティア・アウトドアスポーツ・農業体験等による出会い・交流の場の創出及び利用促進	結婚支援対策費	若者が気軽に交流できる場づくりに向けて意見交換会を実施し若者が求める交流の場について検討を行った。また、交流会を開催し、普段関わることのない人と交流できる場を提供した。 若者交流事業委託料 900千円	若者が自然に交流できる機会の提供、新たな交流拠点の開拓及び整備を引き続き行う。
2-1-7 企画課			
・セミナー等による自身の魅力向上の機会提供	結婚支援対策費	町内の若者を対象に婚活に繋げるためのコミュニケーション力の向上のセミナーと婚活イベントのラテアート体験を実施した。 ライフデザイン構築支援事業委託料 990千円	若者が自分に自信を持てるセミナーを実施し、結婚を前向きに捉える機会を提供する。
2-1-7 企画課			
・国際化、多様化に対応した適切な出会いの機会の創出、後押しなど積極的な結婚支援	結婚支援対策費	町内における出会いの機会を創出するため、イベント、自己啓発講座等の出会い支援事業を実施する団体に対して、側面的支援を行った。 結婚サポーター事業助成金 10千円	出会い支援事業を実施する団体への側面的支援を継続するとともに、同事業を実施する団体の増加を目標に、制度の発信を行う。
2-1-7 企画課			
・「ひょうご出会いサポートセンター」「麒麟のまち婚活サポートセンター」の活用促進	-	麒麟のまち婚活サポートセンターと連携し、婚活事業を行い、同センターの事業について、町ホームページ等で紹介を行った。	サポートセンターとの連携を密にし、参加者増加に向けた魅力ある町内イベントの開催、事業内容の発信を行う。
2-1-7 企画課			
具体的な施策② 妊娠・出産の不安の軽減と子育ての自信を育む支援【継続】			
・子育て世代包括支援センターの利用啓発の促進と機能強化	子育て世代包括支援センター事業費	母子健康手帳交付時の面接からセンターを知ってもらい、妊娠期から子育て期の相談支援の拠点として周知することができた。 ・利用件数（電話相談等も含む） 270件	妊娠期からの関わりの第1歩である母子健康手帳交付を伴走型支援の第一歩として捉え、妊婦に丁寧に関わり、相談支援の窓口拠点として周知を図る。
4-1-1 健康課			
・子育て経験を活かした同世代の母親による妊産婦へのサポート	子育て世代包括支援センター事業費	初めて子育てをする母親と子育て経験を持つ母親が気軽に話をする場になっているので、子育ての情報を聞いたり、悩みを共感してもらおう機会となった。	人と関わるのが苦手であったり、支援者が少ない妊産婦を個別に勧奨し、子育て経験がある妊産婦と交流できるように事業を実施する。
4-1-1 健康課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針	
予算区分 / 所管					
<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療等への支援の拡充 ・産前産後ヘルパー派遣事業の充実 ・産後ケア事業の充実 ・妊娠期から子育て期を通じた食育の推進 	4 - 1 - 1	健康課	母子保健対策費	年齢制限を廃止し、保険の適用の有無にかかわらず、特定不妊治療は1件あたり15万円上限、一般不妊治療は1年度あたり5万円上限で助成した。 一般不妊治療費扶助費 5件 182千円 特定不妊治療費扶助費 20件 2,536千円	今後も国や県の動向を踏まえつつ支援の充実、拡充を図り、事業の周知に努める。
	4 - 1 - 1	健康課	子育て世代包括支援センター事業費	母の仕事復帰の支援のため家事援助を目的に利用があり、母の負担が軽減した。 産前産後ヘルパー派遣事業利用件数 1件 44千円	今後も支援が必要な状況にある母子に対し、育児の不安や負担感が軽減できるサービスとして周知、勧奨を図る。
	4 - 1 - 1	健康課	子育て世代包括支援センター事業費	産後の支援を必要とする母子のケアを医療機関等での宿泊、通所、在宅助産師による訪問を通して育児不安等の軽減を図り母親が自信を持って子育てができるよう支援を行うことができた。 産後ケア事業利用件数 宿泊型4件合計13日分 通所型1件合計1回分 訪問型3件 525千円	引き続き、事業の啓発・促進を図る。
	4 - 1 - 1	健康課	母子保健対策費	健全な食習慣の確立のため離乳食と歯の教室（年6回参加36組）と母と子の料理教等（年9回参加81人）を実施した。 離乳食と歯の教室、栄養教室 母と子の料理教室	今後も引き続き健全な食習慣の啓発を実施する。
■施策の柱2 子ども・子育て支援の充実					
具体的な施策① 教育・保育環境の充実【継続】					
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援マップの作成及び子育て情報の発信（無料子育てアプリの導入） ・総合的な子育て支援を提供する拠点の整備 	4 - 1 - 1	健康課	母子保健対策費	アプリを活用し、妊娠期から子育て期における情報をタイムリーに届け、育児不安、負担の軽減を図った。 ・累計登録件数 307件 ・3歳までの利用者 150人 子育て情報サービス利用料 396千円	教室の周知等タイムリーな情報発信をすることができた。今後も引き続き、利用者の増加を目指し、細やかな子育て支援を行う。
	4 - 1 - 1	健康課	香美町保健センター事業費	乳幼児のための健診や親世代の健診等の事業や健やかな子育てのための教室、健康相談事業など、子育てを総合的に支援するための保健事業の拠点として保健センターを運営することができた。 香美町保健センター事業費、維持管理費 2,925千円	総合的な子育て支援を提供する拠点として保健センターを設置し、子育て支援事業を展開できている。今後も総合的な子育て支援の窓口として周知を図り、利用の促進を目指す。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・保・幼・小・中・高が連携した「一貫化教育」の推進 10 - 1 - 2 教育総務課	教育研修所費	各中学校単位で一貫化教育を推進する取組を実施 香住第一中学校区・小中高あいさつ運動（年2回） 村岡中学校区・中学1年生授業公開及び情報交換 小代中学校区・スポーツフェスティバル（合同体育祭）	中学区単位で「めざす子ども像」を共有し、9年間の義務教育を通じた教育課程編制の確立と、今後の学校再編計画を考慮しながらさらなる連携を進めていく。
・不登校の未然防止やいじめの早期発見、早期対応に向けた学校、保護者、関係機関の連携の推進 10 - 1 - 2 こども教育課	教育相談センター運営費 スクールソーシャルワーカー配置事業費	「香美町不登校対策連絡協議会」を開催し、不登校の現状把握等に基づき、多様な支援の在り方や取組等に関する協議、情報共有を行った。また、学校、保護者、SSW、SA、教育相談センター等関係機関と連携し、「適切で、安心安全な居場所づくり」に努めた。 ・小中ふれあいルーム連絡会（月1回） ・いじめ問題対策協議会の開催（年1回） ・町生徒指導部会研修会（年3回）	「香美町不登校対策連絡協議会」を開催し、多様な支援の在り方や取組等に関する協議、情報共有を行い、不登校の未然防止と不登校児童生徒の減少を目指す。生活アンケート等を定期的の実施し、いじめの早期発見・早期対応に取り組む。
・学校園所へのICT活用の推進（小学校） ・授業への積極的なICT活用の推進 10 - 2 - 1 教育総務課	小学校コンピュータ整備事業費	各学校に授業支援ソフト（xSync Classroom）を導入し、操作研修会を実施した。 ICT支援員が学校を訪問し、タブレットの利活用向上と教職員の負担軽減を図った。	学校間でのタブレットの使用頻度は向上してきているが、引き続き、各校の情報教育担当者が中心となり「情報教育全体計画・年間指導計画」に沿って児童生徒の情報活用能力の平準化を図る。
・学校園所へのICT活用の推進（中学校） ・授業への積極的なICT活用の推進 10 - 3 - 1 教育総務課	中学校コンピュータ整備事業費	各学校に授業支援ソフト（xSync Classroom）を導入し、操作研修会を実施した。 ICT支援員が学校を訪問し、タブレットの利活用向上と教職員の負担軽減を図った。	学校間でのタブレットの使用頻度は向上してきているが、引き続き、各校の情報教育担当者が中心となり「情報教育全体計画・年間指導計画」に沿って児童生徒の情報活用能力の平準化を図る。
・グローバル化に対応した教育の充実 10 - 1 - 2 教育総務課	外国青年招致事業費	外国語指導助手を5人配置し、小学校では外国語活動等の補助を、中学校では外国語科等の授業補助を行った。 中学校第3学年の英語検定3級以上取得及び同等の英語力を有すると思われる生徒の割合：64.4%	児童生徒の英語力と国際意識の向上を更に目指すため、外国語指導助手の指導力と資質の向上を目指す。
・グローバル化に対応した教育の充実 10 - 2.3 - 2 こども教育課	小学校英語カススキルアップ事業 中学校英語カススキルアップ事業	〔全日程英語セミナー〕 参加した児童生徒の英語に関する興味・関心を大いに高めることができた。 ・小学校（7/25:香住区6年生11人、7/26:村岡・小代区6年生11人） ・中学校（8/8～9:町内中学3年生8人） 〔英語能力判定テスト〕 中学校 1年生1/16、2年生7/3、3年生7/3	・英語セミナーは、参加対象を広げたが児童生徒の参加につながらなかったことから、事業内容や実施方法を見直し実施していく。 ・生徒の英語能力の向上と授業の改善に活用するとともに、生徒の英語能力検定への受験意欲の向上を図るため、継続実施していく。
・トリプルチャレンジ大作戦の充実 10 - 2 - 2 教育総務課	（目）教育振興費 一般経常費	感染症等による中止もなく計画どおりに事業を実施することができた。	小規模校の園児児童を集め、学校園の内外において多人数での合同授業や交流学习などの学習機会を様々な場面で作ることにより、子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容		事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管				
・就学前わくわく交流会 ・学力向上ステップアップ授業 （学校間スーパー連携チャレンジプラン） ・土曜チャレンジ学習 ・体験的なふるさと教育の推進 ・地産地消による日本一のふるさと給食など、地域に根ざした食育の推進	（目）幼稚園費 一般経常費 10 - 4 - 1 こども教育課	複数園所による多人数保育で、人間関係力、コミュニケーション能力、挑戦心等を育成するため、就学前わくわく交流会を実施した。 ・4グループで計25回（香住幼稚園との交流4回を含む）	児童の減少、幼稚園の再編などの課題はあるが、グループの編成や実施方法の工夫をしながら引き続き実施する。	
	（目）教育振興費 一般経常費 10 - 2 - 2 教育総務課	Aグループ・予定した活動はすべて実施できた。3学期には、全学年オンラインによる授業を実施し、5校での締めくくりの授業が実施できた。 Bグループ・新しい取組として各学年で4校交流を2回実施した。	学校再編に伴い、交流する学校が減少していくが、再編までは、引き続き学校間連携を行い、効果的な指導方法と授業内容の確立に努め、確かな学力の向上を図る。	
	土曜日教育支援事業費 10 - 5 - 1 生涯学習課	地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、2つの公民館において、ふるさとの自然や産業、スポーツなど総合的に学ぶ機会を増やすことを目的とした「土曜チャレンジ学習事業」を実施し、子どもたちの非認知能力の向上に務めた。 【実施内容】 ・開催回数 7回（前年度11回） ・延べ参加者数 217人（前年参加者355人） 講師となる地域の方々との交流とは別に、小学生と高校生の相互交流を図るため、香住高校生徒による缶詰づくりやビーチクラフト体験、村岡高校生徒によるボルタリング体験や川の水生物観察を実施し、交流促進も図った。 ・チャレンジ学習は年12回開催計画とされていたが、波浪警報、大雨警報、大雪警報等により5回中止となった。	地域の指導者、アウトドアスポーツ関係者、高校生等の指導のもと、継続して香美町の自然を活かしたチャレンジ学習事業を行うとともに、参加者にアンケート調査を行い、結果を基に事業のブラッシュアップを図り参加者増に繋げる。	
	小学校体験活動事業費 10 - 2 - 2 こども教育課	小学3年生では地域人材を活用した環境体験学習を、小学5年生では5日間の自然学校を実施し、多様な体験的学習を通してふるさとへの理解・愛着心を育成するとともに、命の育みや豊かな感性、社会性を育んだ。 ふるさとの教育共通教材として、小学校では「但馬牛」、中学校では「山陰海岸ジオパーク」を取り扱った。	地域の人的・物的資源を活用した環境体験学習、自然学校など、多様な体験活動によるふるさと教育を推進する。 引き続き、ふるさと教育の共通教材として、小学校では「但馬牛」、中学校では「山陰海岸ジオパーク」を取り扱うこととする。	
10 - 6 - 4 教育総務課	ふるさと給食推進事業費	小学3年生では地域人材を活用した環境体験学習を、小学5年生では5日間の自然学校を実施し、多様な体験的学習を通してふるさとへの理解・愛着心を育成するとともに、命の育みや豊かな感性、社会性を育んだ。 ふるさとの教育共通教材として、小学校では「但馬牛」、中学校では「山陰海岸ジオパーク」を取り扱った。	約7割の児童生徒が香美町の好きなところはおいしい地元産食材と回答しているが、「ふるさと給食」の認知割合は約5割である。（※第2期香美町教育振興基本計画に関する意向調査より） そのため「ふるさと給食」についての周知活動をさらに推進し、「ふるさと給食推進員」を中心に、地元産主要野菜の給食への使用率をさらに高めていく。	

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
具体的な施策② 子育て家庭を支える地域づくり【継続】 ・子育て・子育て支援センターの充実 3 - 2 - 5 こども教育課	子育て・子育て支援センター費	子育て・子育て支援センターの開設と運営 ・実施箇所 3箇所 ・年間利用者数 香住子育て・子育て支援センター 1,590人 高井子育て・子育て支援センター 1,942人 小代子育て・子育て支援センター 1,473人 計 5,055人	保護者の子育てに関する不安の緩和と子どもの健やかな育ちを促進するため、引き続き事業を行う。利用者のニーズに応じた開所時間・曜日等について検討を行い、利用者の増加を目指す。
・子育てグループ等への活動支援 3 - 2 - 5 福祉課	(目) 子育て支援事業費 一般経常費	地域子育て支援事業補助金 400千円 ・交付先 子育て団体 8団体 自治会等 - 団体 計 8団体	少子高齢化に伴い、活動が継続できない子育てグループも見られるが、活動費の助成を行うことで、既存グループの活動支援につながっている。引き続き子育て・子育て支援センターと連携を図り、既存グループの活動が維持できるよう支援する。
・地域での子育てを支える人材の育成 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	子育てをしている母子との交流を図る事業や研修を実施し、子育て支援を支える人材を育成する事業を実施した。	産後ケアリスト等の子育てを支える人材に対する資質の向上や活動支援を進める。
・子育て世代と祖父母世代との勉強会・交流の推進 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	愛育班員と子育てをしている母子との交流を図る等地域の子育て支援を推進する事業を実施した。 ・子育てセミナー参加者 28人 ・孫育て講演会参加者 母子祖母11人、愛育班員10人 ・小児科医師の講演会参加者 51人	子育て世代と祖父母世代の交流を促すことのできる事業を進める。
・産後ケアリスト等の有資格者を活用したファミリーサポート 4 - 1 - 1 健康課	子育て世代包括支援センター事業費	産後ケアリストと連携して、子育てをしている母が悩みを解消しながら子育てができるよう事業を展開した。 ・ママカフェサロン 12回 延べ216人 ・わくわくサロン 11回 延べ90人 ・パパママ子育て教室 実施人数3組 産後ケアリストによるサポート事業費 175千円	産後ケアリストが支援が妊産婦への支援がしやすくなるよう母子健康手帳交付時にも産後ケアリストを活用し、妊娠期からの支援強化を図る。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容 予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
■施策の柱3 子どもを生き育てやすい環境整備			
具体的な施策① ワーク・ライフ・バランスの推進【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 未来のパパママ事業、お父さん応援事業、お家に帰ろうデー等男性の家事、育児参加に向けた意識改革の促進 	子育て世代包括支援センター事業費	希望者の都合のいい日程で個別対応した。産後スムーズに子育てができるよう父親の育児参加の促進を目指した事業を実施した。 ・パパママ子育て教室（個別講習会含む） 16千円	基本は集団の対応をしつつ、個別対応も行い、利用者が参加しやすいよう実施する。
4 - 1 - 1 健康課			
<ul style="list-style-type: none"> 企業へのワーク・ライフ・バランス普及啓発と推進企業の認定 	地域しごと支援事業費	セミナー開催に向け、参加企業の募集を行ったが応募者が少なく実施に至らなかった。	個人事業者が多い中、事業主の意識が進んでいないことが課題であるとする。単品ではなく、他の事業の中でまず啓発を進める。
7 - 1 - 2 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場環境づくりに取り組む企業への助成 	地域しごと支援事業費	令和6年度補助金申請なし。 職場環境改善支援補助金 0千円	補助制度の周知を図る。個人事業主が多いこと、物価高などの状況もあり、取り組み難しい状況が続いている。
7 - 1 - 2 観光商工課			
<ul style="list-style-type: none"> 香美町男女共同参画行動計画の推進 	男女共同参画推進事業費	男女共同参画の推進に係るパンフレット等の配架を行うとともに、第3次香美町男女共同参画行動計画に掲げる各種審議会への女性の登用目標30%に向けた取り組みの啓発を行ったが、目標より低い21%程度の登用率であった。	第3次香美町男女共同参画行動計画に基づき、住民の男女共同参画意識の向上を図るための取組と併せ、女性の登用目標30%に向け「政策・方針決定過程における女性の参画の推進」を図るため、庁舎内の審議会等の委員改選時には、改めて本計画の意義を理解したうえでの改選について周知を行う。
3 - 1 - 4 町民課			
具体的な施策② 仕事と子育ての両立支援【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 延長保育、一時保育の充実 	保育所運営支援事業費	延長保育事業補助金 2,960千円 ・実施保育所数 4箇所 ・補助保育所数 3箇所 一時保育補助金 74千円 ・延べ利用児童数 26人 ・補助保育所数 3箇所	保育事業充実のため、引き続き事業を実施する。
3 - 2 - 2 こども教育課			
<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの充実 	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブの開設と運営 ・開設数 9箇所 ・利用児童数（通年平均） 151人	家庭の就労支援充実のため、引き続き事業を実施する。学校再編の状況を鑑みつつ、保護者のニーズに応じて開設していく。
3 - 2 - 5 こども教育課			
<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の預かり機能の充実 	幼稚園一時預かり事業費	幼稚園の教育時間終了後に預かり保育を実施 ・香住幼稚園で実施 ・平日利用延べ利用児童数 6,688人	保育事業充実のため、引き続き事業を実施する。
10 - 4 - 1 こども教育課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・病児保育の充実	病児保育事業費	香住病院内の専用ルームで病児対応型を実施 ・延べ利用児童数 14人 病児保育事業補助金 ・病児保育（体調不良児型）実施保育所数 2箇所 ・延べ利用児童数 41人	保育事業充実のため、引き続き事業を実施する。
	3 - 2 - 2 こども教育課		
・配慮を必要とする子どもや家庭への支援（未熟児、障害児、アレルギーのある子ども、一人親家庭等）	保育所運営支援事業費	障害児保育事業補助金 ・障害児保育実施保育所数 4箇所 ・補助保育所数 3箇所	保護者のニーズに対応する保育所への支援を引き続き実施する。
	3 - 2 - 2 こども教育課		
具体的な施策③ 子育てに係る経済的負担の軽減【継続】			
・妊産婦健康診査費の助成	母子保健対策費	妊娠・出産・子育てにおける健康増進と経済的負担の軽減を図った。 妊婦健康診査費扶助費 63件 3,756千円 産婦健康診査費扶助費 43件 236千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっているため、引き続き事業を実施する。
	4 - 1 - 1 健康課		
・入・通院無料化含む乳幼児等医療費、子ども医療費の助成	乳幼児等医療費助成事業費	乳幼児等の医療費及び子ども医療費の一部負担金の無料化を行った。	令和7年7月1日受診の医療分より乳幼児医療及び子ども医療の所得制限を撤廃し、子育てに係る経済的負担軽減を行い子育て支援を推進する。
	3 - 2 - 1 健康課	乳幼児等医療費扶助費 20,889千円 子ども医療費扶助費 27,556千円	
・保育料の軽減	保育所運営費	保育所及び認定こども園の3号認定児童に係る保育料の一部助成を行った。 ・保育料軽減事業費 1,231千円 ・対象児童数 20人	子育てに係る経済的負担軽減を図り、引き続き子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する。
	3 - 2 - 2 こども教育課		
・第3子以降を育てる世帯への支援	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブを利用する第3子以降の児童の負担金を軽減して、多子世帯の支援を行った。（所得制限あり） ・軽減決定者 24人	引き続き、放課後児童クラブを利用する第3子以降の児童の負担金を軽減し、多子世帯の支援を行う。
	3 - 2 - 5 こども教育課		
・母子等家庭への医療費の助成	母子家庭等医療費給付事業費	母子・父子家庭の医療費の一部助成を行った。 母子家庭等医療費扶助費 1,075千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっている。引き続き事業を実施する。
	3 - 2 - 2 健康課		

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	年少人口（0歳～14歳） 2025（R7）年度に1,650人を維持
------	-----------------------------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
年少人口	1,632人	1,559人	1,473人	1,386人	1,330人		-

取組内容	事業名		事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
	予算区分	所管		
・ 予防接種費用の助成	4 - 1 - 2	健康課	予防接種費用の助成 予防接種委託料 3,090件 11,151千円 予防接種費扶助費 27件 563千円	子育て世帯の経済的負担の軽減につながっているため、引き続き事業を実施する。
・ 遠距離通学費の助成 (小学生)	10 - 2 - 2	教育総務課	遠距離通学している対象者全員に助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することができた。 遠距離通学児童援助費 3,057千円	引き続き、遠距離通学する児童に対して通学費を補助する。
・ 遠距離通学費の助成 (中学生)	10 - 3 - 2	教育総務課	遠距離通学している対象者全員に助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することができた。 遠距離通学生徒援助費 8,004千円	引き続き、遠距離通学する生徒に対して通学費を補助する。
・ 遠距離通学費の助成 (幼稚園)	10 - 4 - 1	教育総務課	遠距離通学している対象者全員に助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することができた。 通園費補助金 86千円	引き続き、遠距離通学する園児に対して通学費を補助する。
・ 遠距離通学費の助成 (高校生)	10 - 1 - 2	企画課	町内在住高校生のバス通学定期券購入費用に対して助成することで、保護者の負担軽減とバスの利用促進を図った。 高校生バス通学助成金 711千円	利用者が限られているが、引き続き高校生バス通学助成金の利用促進を図ることで、保護者の負担軽減とバスの利用促進につなげる。
・ 義務教育終了までの子どもや家庭への支援 (幼稚園・小学生・中学生)	10 - 6 - 4	教育総務課	子育て世代への支援拡充のため、幼稚園、小学校及び中学校の給食費を完全無償化し、保護者の負担軽減を図った。 賄材料費・学校給食補助金 47,016千円	引き続き、幼稚園、小学校及び中学校の給食費を完全無償化し、保護者の負担軽減を図る。
・ 義務教育終了までの子どもや家庭への支援 (保育所・認定こども園)	3 - 2 - 4	こども教育課	子育て世代への支援拡充のため、保育所、認定こども園の給食費（副食費相当額）を無償化し、保護者の負担軽減を図った。 賄材料費・保育所等広域利用者給食費補助金 5,669千円	引き続き、保育所、認定こども園の給食費（副食費相当額）を無償化し、保護者の負担軽減を図る。

基本目標 IV

安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		1箇所

取組内容 予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
■施策の柱1 地域コミュニティによるふるさとづくり			
具体的な施策① 新しい地域コミュニティづくり - 広域的なコミュニティ組織による活性化 - 【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 新しい地域コミュニティづくりを推進する担当部署の設置 	地域コミュニティ活性化事業費	新しい地域コミュニティ（まちづくり協議会）による地域づくりを推進する担当課（係）の設置には至らなかった。	県、他市町及び有識者等の意見・情報を参考にしながら、役場内での業務の進め方、支援体制について検討を進める。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域内の既存組織や町行政の会議・団体・各種委員の整理・統廃合 	地域コミュニティ活性化事業費	設立済みの1団体しか検討対象となる団体がないことから、事業未実施となった。	新しい地域コミュニティ（まちづくり協議会）の設立に向けた協議を進めていく中で、地域内の各種団体の整理や町が選出を依頼する各種委員の地域内での統合選出についての検討を引き続き行う。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ組織の活動を補完するため、人的支援と自由度の高い交付金による継続的な財政支援 	地域コミュニティ活性化事業費	射添地区まちづくり協議会における取組を中心的に担う事務局長として集落支援員を配置し、組織運営及び活動に対して側面的な支援を実施した。 集落支援員活動費（人件費除く） 332 千円 地域コミュニティ活性化事業助成金 100 千円 まちづくり協議会活動助成金 1,794 千円	県や町の制度を有効に活用し、地域の課題解決に向けた持続可能な取組を実施できるよう、引き続きまちづくり協議会や準備組織の活動支援を行う。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 食料品・日用品等の販売や宅配サービス、移動手段の確保など、安心した日常生活が送れる施設配置やサービス提供の取り組み 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	まちづくり協議会の部会の中で検討を行い、地域の現状や将来性が見据えた取り組みができるよう、活動支援を行う。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校園が連携しその地区ならではのふるさと教育の推進 	ふるさと教育推進事業費	「ふるさとに学び、夢や希望を抱き、ふるさと香美を大切に」子どもの育成を目的として「ふるさと教育交流会」を実施し、350人（前年参加者350人）の参加を得た。ふるさと教育交流会では、ふるさと給食試食会・取組展、町内団体等によるふるさと教育の取組みの発表を行ったほか、鳥取大学教授による関係人口の講演や、地元高校卒業生による地元貢献への思いなどを発表した。ほか、各学校等のふるさと教育の取組を冊子にまとめて配布し、情報の共有を図るとともに体制の強化を進めた。	ふるさと教育では、今後もふるさと教育交流会を続けていくことにより、学校・家庭・地域が一体となって、今後の香美町を担っていく子どもたちに対する方向性を共有し、いつまでもふるさと香美町を愛してくれる子どもたちを育てていく。
10 - 5 - 1 生涯学習課			

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の活用やコミュニティカフェ、高齢者の知識やスキルを集積したまちライブラリーなどのデジタルアーカイブの推進 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	他市町の既存組織及びモデル地区等の事例を参考にしながら、地域の現状や将来性を見据えた取り組みを検討するとともに、既存組織の取り組みに対して支援を行っていく。
- - 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 多世代が気軽に集うことができる魅力ある居場所づくり 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	他市町の既存組織及びモデル地区等の事例を参考にしながら、地域の現状や将来性を見据えた取り組みを検討するとともに、既存組織の取り組みに対して支援を行っていく。
7 - 1 - 8 企画課			
具体的な施策② 集落機能の維持【継続】			
<ul style="list-style-type: none"> 祭りなどの伝統行事や文化、高齢者の孤立、集落の環境や景観など、住んでいる集落の暮らしの営みを点検し、問題点や課題を明確にし、解決策を考える「集落点検、集落計画づくり」への支援 	地域コミュニティ活性化事業費	事業未実施	他市町の既存組織及びモデル地区等の事例を参考にしながら、地域の現状や将来性を見据えた取り組みを検討するとともに、既存組織の取り組みに対して支援を行っていく。
7 - 1 - 8 企画課			
<ul style="list-style-type: none"> 既存集落は維持した上で、他の集落との連携や道路・水路の共同作業などの相互扶助の推進 	地域コミュニティ活性化事業費	集落支援員及びまちづくり協議会活動助成金を活用した支援を通じ、各地域での取組を推進した。	集落間の連携や相互扶助について、引き続き側面支援を続ける。
7 - 1 - 8 企画課		まちづくり協議会活動助成金 1,794 千円	
<ul style="list-style-type: none"> 転出者（地域出身者）などへのふるさとでの地域づくりへの参加促進や外家族として地域への関わりを促進するSNS活用などによる情報発信と取り組みの支援 	地域コミュニティ活性化事業費	フォトコンテストの開催等、地域内外に向けた情報発信に取り組むまちづくり協議会に対し、側面的な支援を行った。	イベントの実施やSNS、広報等を活用した情報発信に対して引き続き支援を行い、転出者（地域出身者）や移住者等の地域活動への参加を推進する。
7 - 1 - 8 企画課		まちづくり協議会活動助成金 1,794 千円	

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
■施策の柱2 安全・安心な暮らしづくり			
具体的な施策① いつまでも健康で安心して暮らせる地域づくり【継続】			
・共助・助け合いを旨とする自治会・ボランティア等の支援体制の整備 3 - 1 - 1 福祉課	社会福祉協議会費	地域福祉の担い手であり推進者である香美町社会福祉協議会を支援するため、同協議会の非採算部門である次の事業に対して補助を行った。地域における公益的な取り組みを実施することができた。 社会福祉協議会補助金 40,200 千円 事務局10人分の人件費、法律相談などの費用 町ボランティア活動支援事業補助金 2,500 千円 コーディネーター2人分の人件費、ボランティア育成に係る経費	将来にわたり福祉サービスを安定的・継続的に提供していく必要があることから、福祉人材の確保及び育成を重点に取り組んでいただくために、今後も補助を行い支援する。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 2 - 1 【特別会計】福祉課	一般介護予防事業費	県、町、民間から介入できるリハビリ専門職も増えている。年間306回、フレイル予防を目的に、地域支援、介護予防事業、事業所支援、多職種支援に関わり、専門職によるアドバイスを適宜行った。	効果的な介護予防事業の実施ができるよう引き続き地域のリハビリ専門職の派遣を確保し、介護予防の取り組み強化を行う。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 3 - 4 【特別会計】福祉課	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護従事者が、多職種協働で在宅医療と介護を一体的に提供できる「地域包括ケア体制の構築」を推進した。 ・美方郡在宅医療・介護連携推進事業(代表者会議4回、講演会1回など) ・町内公立病院と連携体制構築(各公立病院との連携会議6回、両公立病院との連携推進会議2回)	今後も医療・介護従事者が、多職種協働で在宅医療と介護を一体的に提供できるよう連携を進め、住民が望む日常の療育生活支援・救急時の対応・在宅看取りを実現できるように支援する。
・医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築 3 - 3 - 5 【特別会計】福祉課	生活支援体制整備事業	多様な生活ニーズに対応していくため、地域の移動販売などの社会資源の情報を収集し、各関係機関との連携を図ることができた。	多様な生活ニーズに対応するため、有償ボランティアの実施も含め、地域のつながりづくりを中心に、他機関と協議を進めていく。引き続き住民主体の集い場の活性化を図っていく。
・医療や買い物以外でも気軽に集える施設・場所(サロン)の設置促進 3 - 2 - 1 【特別会計】福祉課	一般介護予防事業費	元気体操サークルは新規4箇所発足した。現在、90団体が実施(休止10団体)しており、引き続きの支援を行った。また、出前講座を実施し、サロンや老人会参加者増につなげ、新たな拠点づくりを進めた。	活動休止団体の再開支援、介護予防事業所や商店など多様な地域の介護予防活動の拠点づくりを推進し、発足・継続支援を行う。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
・健康づくりへの動機付けや運動習慣の定着を促すことをめざす「健幸ポイント制度」の拡充とポイント活用の充実・促進	健康増進事業	健康づくりへの動機づけと運動習慣の定着を促進するため、R6年2月1日から12月13日までの10ヵ月間ポイント付与期間として実施し、溜まったポイントに応じて健康商品等に交換する健幸ポイント事業を実施した。 ・参加者数 780人（前年比146人増） ・ポイント交換率 71.2%（前年比8.0%減） 健幸ポイント事業参加前に比べて健康について意識をするようになった人は、事業参加者の43.2%あり、健康づくりへの動機づけにつながっている。	健康づくりへの動機づけと運動習慣の定着を促進するため、健幸ポイント事業を引き続き行うが、若年世代の参加を促していくために、ICTの導入について検討する。
・ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究	在宅医療・介護連携推進事業 情報通信を活用した医療・介護連携	医療介護事業所代表者による会議体を設置し、地域課題の解決への協議を重ね、香美町医療介護連携地域ネットワーク（ICT連携）の構築への事業化を進めた。	地域ネットワークの安定した運用とメンテナンスに務める。 将来的に歯科医師・薬剤師・障害分野などの連携も視野に入れて、効果的な施策展開を検討していく。
・ICT（情報通信技術）やAIの医療・福祉への活用及び生活利便性向上への調査研究	在宅医療・介護連携推進事業 情報通信を活用した医療・介護連携	医療・介護分野における連携を一層推進するため、ICTを積極的に導入し、関係従事者間の情報共有体制を整備・強化した。	ICT基盤のさらなる充実を図り、地域内の多職種連携を拡充し、地域包括ケアの質的向上を図る。
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実	地域医療対策費 公立八鹿病院組合負担金事業費	医師招へい及びドクターカー運航事業等の実施 ・ドクターカー出動件数 263件/2,595件 8,002 千円 公立八鹿病院・公立村岡病院の運営費負担 126,788 千円	引き続き一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実を図るため事業を実施する。
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実	国民健康保険各診療所の運営	へき地診療所の運営による一時医療体制の確保を行う。 佐津診療所 40,113 千円 診療日数 140日 延患者数 1,057人 兔塚・川会診療所 24,747 千円 診療日数 139日 延患者数 588人 小代診療所 128,561 千円 診療日数 235日 延患者数 1,028人 兔塚・川会歯科診療所 77,373 千円 診療日数 214日 延患者数 5,776人	医師の高齢化、医師不足などによる医師確保及び安定した医療体制の維持継続が課題となっているため、地域の実情を分析しながら、引き続き一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実を図り、安定した医療体制の維持継続に努める。
	【特別会計】健康課		

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		1箇所

取組内容	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
予算区分 / 所管			
・一次医療体制の確保及び周辺地域と連携した二次医療体制の充実 - - 香住病院	公立香住病院事業の運営	医療・福祉・介護の連携を図り、公的医療機関の役割を果たした。令和6年度は、常勤医師が総合診療科1人減となり、7人の常勤医師体制となった。 ・病院 患者数 入院 11,110人 外来 42,196人 ・介護老人保健施設 利用者数 入所 14,689人 ・訪問看護ステーション 利用者数 2,772人 ・居宅介護支援事業所 利用者数 461人	引き続き、将来にわたり持続可能な医療及び福祉の提供体制の構築を図る。
・防災ハンドブックの作成など、防災、減災体制の構築と地域防災力の強化 9 - 1 - 4 防災安全課	災害対策関係諸事業	住民の防災意識の向上を目的に町総合防災訓練を実施した。大規模災害時の救援、救護、復旧活動の拠点となる地域防災拠点の整備事業（用地取得、建設工事等）を進めた。 町総合防災訓練参加者 6,802人 地域防災拠点整備事業 148,840千円	町総合防災訓練を継続実施し、防災・減災意識の向上を図る。地域防災拠点整備事業は令和7年度完了予定であり、平時から施設の適切な維持管理に努め、防災力の向上を図る。
具体的な施策② 交通弱者対策の推進【継続】			
・公共交通の幹線の維持と周辺集落から市街地への支線におけるデマンド運行の導入 2 - 1 - 7 企画課	町民バス運営事業費	令和2年度改変の運行体系による町民バス運行を継続実施するとともに、奥佐津線及び余部線においてデマンド運行を導入している。令和6年度は10月以降、新たに小代線でデマンド運行を開始した。 令和6年度小代線1便当たり平均乗車人数の推移 デマンド運行開始前 (R6.4~9) : 0.3人/便 デマンド運行開始後 (R6.10~R7.3) : 1.4人/便	デマンド運行のメリットを活かしながら、利便性の向上を図るとともに、町民バスのさらなる利便性向上に向けた運行体系を検討する。
・地域内で自家用車を使用した移動手段の確保と支援 - - 企画課	町民バス運営事業費	自家用有償運送の導入条件や課題等について検討を行った。	自家用有償運送やボランティア移動サービスの導入についての検討を進める。
・次世代移動サービス (MaaS) 導入のための調査研究 2 - 1 - 7 企画課	町民バス運営事業費	事業未実施	AIを導入した予約システムの導入を検討する。

令和6年度 第2期香美町総合戦略 事業評価・検証シート

■基本目標Ⅳ 安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する

数値目標	地域コミュニティ組織の確立
------	---------------

	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	合計
地域コミュニティ組織数	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		1箇所

取組内容 予算区分 / 所管	事業名	事業の実施状況・実績・効果など	今後の取り組み方針
■施策の柱3 持続可能な地域づくり			
具体的な施策① 既存ストックのマネジメント強化ー「つくる時代」から「活かし・つかう時代」へー【継続】			
・ 公共施設等総合管理計画の推進 2 - 1 - 6 総務課	(目) 財産管理費 一般経常費	老朽化した公共施設の改修や更新、人口減少による公共施設の統廃合等を計画的・効率的に行い財政負担の軽減を図るため、H28年度に公共施設等総合管理計画を策定、H29～R2に個別施設計画を策定した。公共施設等総合管理計画策定から5年が経過したため、R4年度に公共施設等総合管理計画を見直し、改訂を行った。また、公共施設等総合管理計画の改訂に基づき、R5年度に個別施設計画（公共施設）の見直し改訂を、R6年度に個別施設計画（インフラ施設）の見直し改訂及び未策定施設の計画策定を行った。	R4年度に改訂した公共施設等総合管理計画に基づきR5年度に個別施設計画（公共施設）の見直し改訂を、R6年度に個別施設計画（インフラ施設）の見直し改訂を行った。引き続き今後も毎年のフォローアップと公共施設等総合管理計画及び各個別施設計画の5年毎の見直しを行い、計画的な公共施設の管理と、公共施設保有量の削減、建設費用の平準化を図る。
具体的な施策② 再生可能エネルギーの利活用【継続】			
・ 木質バイオマス、太陽光、雪氷熱などの自然（再生可能）エネルギーの利用の促進 - - 企画課	-	事業未実施	一般家庭や公共施設等へ再生可能エネルギー設備の導入を促進するなど、低炭素社会の実現に向けた検討を進める。
・ 木質バイオマス、太陽光、雪氷熱などの自然（再生可能）エネルギーの利用の促進 6 - 2 - 2 農林水産課	森林環境経営管理事業費	チップ材加工については、香美町バイオマスセンターを拠点として安定的な運営がなされているほか、木の駅プロジェクトも円滑に運営されている。	チップ材加工及び木の駅プロジェクトについては継続して安定運営に努める。
・ 安全で新鮮な食糧の地域内生産・消費の促進 6 - 1 - 3 農林水産課	畜産振興対策事業費 水産振興事業費	但馬牛の牛ふん堆肥など有機肥料による安全安心な農産物生産を推進する他、道の駅での販売拡大、児童生徒への「ふるさと給食」材料として新鮮な地域内生産物の提供を行った。 ふるさと給食材料 但馬牛牛肉 599 千円 水産物 1,534 千円	引き続き地域内生産物の普及推進と消費喚起を継続して行う。